

平成29年9月13日
クミアイ化学工業株式会社
企画普及部普及課

登録速報

下記の通り適用拡大登録となりましたので、ご連絡します。

記

農薬名：ヒエクリーン1キロ粒剤（登録番号：第20499号）

適用拡大登録月日：平成29年9月13日

適用拡大登録内容：

- 作物名「移植水稻、直播水稻」の使用法「湛水散布」を「湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布」に変更する。

【変更後】

| 作物名 | 適用雑草名 | 使用時期 | 使用量 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | ピリミバックメチルを含む農薬の総使用回数 |
|------|-------|-----------------------------|-------------|---------|-----------------------------|----------------------|
| 移植水稻 | ヒエ | 移植後15日～ヒエ4葉期 但し、収穫45日前まで | 1kg/10a | 1回 | 湛水散布又は 無人ヘリコプター による散布 | 2回以内 |
| 直播水稻 | | 稲3葉期～ヒエ4葉期 但し、収穫45日前まで | | | | |
| | | は種時 | 0.5～1kg/10a | | は種同時散布機で 施用 | |
| | | は種直後 | | | 落水散布 又はごく浅く 湛水して散布 | |
| | | は種直後～稲出芽前 | 1kg/10a | | | |

注意事項の変更：

【変更後】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- 本剤はノビエの発生前から4葉期に有効なので時期を失ないように散布すること。
- 苗の植付けが均一となるように、代かきおよび植付作業はていねいにおこなうこと。
未熟有機物を使用した場合は、特にていねいにおこなうこと。
- 湛水散布の際は、水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態（水深3～5cm）を保つこと。散布後7日間は落水、かけ流しをしないこと。
- 以下のような条件下では薬害の生じるおそれがあるので使用をさけること。
 - 砂質土壌の水田、漏水田（減水深2cm/日以上）。
 - 軟弱苗を移植した水田。
 - 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田。
- 直播水稲に使用する場合は以下に注意すること。
 - 稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけること。
 - 稲の出芽後から3葉期末までは薬害を生じるおそれがあるので使用をさけること。
 - 稲の3葉期以降に使用する場合は、除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布すること。
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけること。
- 散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがあるが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていない。
- 無人ヘリコプターで散布する際は以下に注意すること。
 - 散布は使用機種の使用基準に従って実施する。
 - 専用の粒剤散布装置によって湛水散布する。
 - 事前に薬剤の物理性に合せて粒剤散布装置のメタリング開度を調整する。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離して圃場内に散布する。
 - 水源池、飲料用水等に薬剤が飛散、流入しないように十分注意する。
- 本剤を散布した水田の田面水を他の作物に灌水しないこと。
- 本剤はその殺草特性から、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるのでこれら作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意すること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以上